

第 4 回 庄 内 南 部 地 区 合 併 協 議 会

期 日：平成 1 4 年 1 2 月 2 6 日（木）

会 場：温海町ふれあいセンター

次 第

1 開 会

2 会 長 あいさつ

3 議 事

(1) 報 告 事 項

報告第 7 号 庄内南部地区合併協議会専門部会の設置について

報告第 8 号 行政現況調査の実施について

(2) 協 議 事 項

議案第 6 号 平成 1 4 年度庄内南部地区合併協議会補正予算(第 1 号)

4 市町村政の現状・方針等の研修会

(1) 櫛引町

(2) 温海町

5 市町村合併研修会

講師 山形県総務部市町村課長 宍戸邦久氏

6 閉 会

資 料 一 覧

1	第4回庄内南部地区合併協議会委員等出席者名簿	2
2	報告第7号資料	
	・ 庄内南部地区合併協議会専門部会の設置について	3
3	報告第8号資料	
	・ 行政現況調査の実施について	7
4	議案第6号資料	
	・ 平成14年度庄内南部地区合併協議会補正予算(第1号)	12
5	市町村政の現状・方針等の研修会資料	
	・ 市町村政の現状・方針等の研修会次第	13
	・ 櫛引町の現状・方針等について	別添
	・ 温海町の現状・方針等について	別添
6	市町村合併研修会	
	・ 市町村合併研修会次第	14
	・ 市町村合併研修会資料	別添

第4回庄内南部地区合併協議会委員等出席者名簿

(敬称略)

市町村名	区 分	氏 名	備 考
鶴 岡 市	市 長	富 塚 陽 一	
	議 長	本 城 昭 一	
	議 員	菅 原 信 喜	
	議 員	榎 本 政 規	
	助 役	芳 賀 肇	
	識見を有する者	大 瀧 常 雄	
	識見を有する者	竹 内 峰 子	
	識見を有する者	菅 原 一 浩	
藤 島 町	町 長	阿 部 昇 司	
	議 長	高 橋 徳 雄	
	議 員	押 井 喜 一	
	識見を有する者	富 樫 達 喜	
	識見を有する者	伊 藤 忠	
羽 黒 町	町 長	中 村 博 信	
	議 長	今 井 勇 雄	
	議 員	富 樫 孝 一	
	識見を有する者	呼 野 祝 二	
	識見を有する者	高 橋 澤	
櫛 引 町	町 長	阿 部 千 昭	
	議 長	遠 藤 純 夫	
	議 員	菅 原 元	
	識見を有する者	長 南 源 一	
	識見を有する者	前 田 藤 吉	(欠席)
三 川 町	町 長	佐 藤 京 一	
	議 長	大 滝 助太郎	
	議 員	須 藤 栄 弘	
	識見を有する者	鈴 木 多右エ門	
	識見を有する者	鈴 木 正 士	
朝 日 村	村 長	佐 藤 征 勝	
	議 長	小野寺 賢 治	
	議 員	進 藤 篤	
	識見を有する者	清 野 豊 春	
	識見を有する者	渡 部 長 和	
温 海 町	町 長	佐 藤 正 明	
	議 長	本 間 毅	
	議 員	富 樫 栄 一	
	識見を有する者	齋 藤 金 一	
	識見を有する者	佐 藤 喜久子	

報告第7号

専門部会の設置について

1. 目的

庄内南部地区合併協議会規約、第3条に掲げる

- (1) 構成市町村の合併に関する協議
- (2) 法第5条の規定に基づく新市建設計画の作成
- (3) 前2号に掲げるもののほか、構成市町村の合併に関し必要な事項を専門的に協議又は調整するため、専門部会を設置するものである。

2. 専門部会の設置（別表1）

- (1) 専門部会の構成
- (2) 専門部会長、副部会長
- (3) 部会連絡調整会議
- (4) 協議会事務局に部会担当者を置く。

3. 分科会の設置（別表2）

- (1) 分科会の設置
- (2) 分科会長、副分科会長は担当課長より選出

4. 本年度の所掌業務

(1) まちづくり・建設計画の基礎調査・計画課題の整理

基礎資料の整備、分析

- ・行政分野毎の基礎データの現況把握・分析

市町村の総合（振興）計画等の収集・検討

- ・市町村総合（振興）計画（実施計画）等の収集・分析
- ・総合・振興計画を基本とした現状と計画課代の明確化、基本的調査

地域づくり課題の収集と検討整理

- ・市町村からのまちづくりの提案、及び学識者、住民意向調査による提案についての検討、現地調査等
- ・まちづくり計画の策定に関する基礎資料の整備、分析

(2) 業務執行体制、執行システム構築のための調査・検討

- ・モデル的な予備調査の実施、現状把握のための現況調査の実施
- ・合併後の業務及び業務執行体制の見直し等の検討

(3) 市町村施策の相違事項の調査、調整案の検討

- ・予備調査の実施、事務事業項目の整理、現況調査の実施
- ・市町村施策、事務事業比較、差異の確認
- ・調整を行う項目の検討、協議会に提案する合併協定項目の調整内容案の検討

(別表 1)

部 会 名	部 会 長	副 部 会 長	副 部 会 長	副 部 会 長
総務部会	芳賀 肇 (鶴岡市助役)	奥山眞弘 (鶴岡市議会 事務局長)	金野和夫 (羽黒町 総務課長)	照井和直 (櫛引町 総務課長)
住民生活部会	阿部恒彦 (鶴岡市 市民部長)	芳賀一弥 (鶴岡市環境 衛生部長)	佐藤 弘 (鶴岡地区消防 事組合消防長)	
健康福祉部会	恩田 隆 (鶴岡市健康 福祉部長)	星野文紘 (羽黒町保健 福祉課長)	工藤秀敏 (三川町 福祉課長)	
農林水産部会	鈴木喜一郎 (鶴岡市 産業部参事)	佐藤 武 (藤島町 農林課長)		
商工部会	佐藤智志 (鶴岡市 産業部長)	半澤政昭 (藤島町 企画課長)	加藤淳一 (鶴岡市 商工課長)	
観光部会	佐藤智志 (鶴岡市 産業部長)	渡辺 一 (羽黒町 観光課長)	板垣隆一 (鶴岡市観光 物産課長)	
建設部会	鈴木 勉 (鶴岡市 建設部長)	鈴木文雄 (鶴岡市 水道部長)	上林正利 (藤島町 建設課長)	
教育部会	青木 博 (鶴岡市 教育次長)	渋谷幸一 (朝日村 教育次長)		
まちづくり部会	山本益生 (鶴岡市農山 漁村整備課長)	川畑 仁 (温海町企画 商工観光課長)	小林 貢 (鶴岡市企画 調整課長)	

専門部会構成一覧

(別表2)

部会名	分科会名	鶴岡市	藤島町	羽黒町	櫛引町	三川町	朝日村	温海町
総務	庶務・人事・選挙管理分科会 企画分科会 財政分科会 議会・監査分科会 電算分科会 会計分科会	総務部 庶務課 企画調整課 企画調整課 国際室 東京事務所 人事課 財政課 情報統計課 議会事務局 選挙管理委員会 監査委員事務局 会計課	総務課 企画課 議会事務局 選挙管理委員会 監査委員事務局 出納室 建設課 教育課	総務課 企画課 議会事務局 選挙管理委員会 監査委員事務局 収入役室 観光課 建設課	総務課 企画課 議会事務局 選挙管理委員会 監査委員事務局 出納室 建設課	総務課 企画課 議会事務局 選挙管理委員会 監査委員事務局 収入役室 教育委員会	総務課 企画課 議会事務局 選挙管理委員会 監査委員事務局 収入役室	総務課 企画課 議会事務局 選挙管理委員会 監査委員事務局 収入役室 教育課
住民生活	住民分科会 住民生活分科会 住民税分科会 環境分科会 消防分科会	市民部 市民課 市民生活課 国保年金課 課税課 納税課 環境衛生部 環境衛生課 消防事務組合 情報統計課 社会教育課	税務町民課 総務課 福祉課 環境課 企画課 教育課	税務住民課 総務課 福祉課 保健課 教育課	住民課 総務課 福祉課 建設課 教育課	町民課 総務課 福祉課 教育委員会	住民課 総務課 環境整備課 教育委員会	町民課 総務課 健康福祉課 建設環境課 教育課 上下水道課
健康福祉	健康分科会 福祉分科会 高齢者福祉分科会 社会児童分科会	健康福祉部 健康課 福祉課 介護サービス課 社会児童課	福祉課	保健福祉課	福祉課	福祉課 町民課	健康福祉課	健康福祉課
農林水産	農政分科会 林業分科会 水産分科会 農業委員会分科会	産業部 農政課 農山漁村整備課 農業委員会	農林課 農業委員会 税務町民課 環境課	農林課 農業委員会 建設課 税務住民課 観光課	農政課 農業委員会 住民課	農政課 農業委員会 町民課	農林課 農業委員会 建設課 住民課 企画課	農林水産課 農業委員会 建設環境課 企画観光商工課
商工	分科会無し	産業部 商工課	企画課	企画商工課	企画課	企画課	企画課	企画観光商工課
観光	分科会無し	産業部 観光物産課	企画課	観光課 企画商工課	企画課	企画課	企画課	企画観光商工課
建設	都市計画・建築分科会 上下水道分科会 土木分科会	建設部 都市計画課 都市整備課 土木課 建築課 下水道課 水道部 総務課 工務課	建設課 環境課 総務課 農林課	建設課 水道室 企画商工課 総務課	建設課 水道室 企画課 総務課	建設課 企画課 総務課	建設課 環境整備課 総務課	建設環境課 上下水道課 企画観光商工課 総務課
教育	管理・学校教育分科会 社会教育分科会 スポーツ分科会	教育委員会 管理課 学校教育課 給食センター 社会教育課 中央公民館 図書館 スポーツ課	教育委員会 教育課 企画課	教育委員会 教育課	教育委員会 教育課 企画課	教育委員会	教育委員会	教育委員会 教育課
まちづくり	分科会無し	企画調整課 農山漁村整備課	企画課	企画商工課	企画課	企画課	企画課	企画観光商工課

1. 行政現況調査の概要

1 - 1. 調査の目的

基本施策の策定や合併協定項目の協議に必要な基礎調査として、各種事務事業の取扱い、使用料・手数料の取扱い、補助金等の取扱い、各種関係団体等の取扱い等、7市町村のすべての事務事業（指標、統計等も含む）に関する取扱い（相違点を確認し、調整案の策定を行う）並びに、合併後の業務執行体制及びシステムを構築するため、現在の執行体制と事務量について調査するものです。

本調査は、そのための資料を統一様式により作成するために行うものですが、合併に際して行財政運営や住民サービスの提供等に支障をきたすことのないよう、各専門部会ごとにそれぞれの事務事業の所管部署業務としてその責任において取り組んでもらうものです。

本年度に行う「行政現況調査」の具体的な目的は次のとおりです。

7市町村で共通して行っている事務及び事業にはどのような種類のものがあり、それぞれ単独で行っている事務及び事業はどのようなものがあるのかについての確認。

において確認した事務及び事業の内容及び具体的にどのような業務の仕方を行っているかについての確認。

事務及び事業ごとに、住民と日常的にどのような係わりがあるか、合併前の市町村での業務となるのか、または一箇所に統合が可能な業務かについて確認。

事務及び事業ごとに、現在抱えている課題及び今後予定している見直し内容についての確認。

事務及び事業ごとに、合併するに際して解決しておかなければならない問題点は何か？

それは具体的にどのようなことかについての確認。

において確認した合併に際しての具体的な調整方針・案についての確認

合併は7市町村の行政だけで実施できるものではなく、一部事務組合等や山形県など他の行政主体の活動にも大きな影響を与えるため、その影響・調整内容についての確認。

と同じように行政機関だけではなく、商工会議所（商工会）、農協、医師会など、地域の各種団体に対しても大きな影響を与える。このような各種の地域団体と合併に際して調整を図るべき内容があるかの確認。

1 - 2. 調査の対象

所管している1つ1つの事務事業

当該部署において処理しているすべての事務事業に関して1つずつ、その目的、内容、予算などを調査し記入して下さい。

予算計上をしている事業

予算計上されていないが実施している事務事業
現在実施していないが、総合計画等で今後実施することが決定している事業
宣言、市町村の花鳥木など、現在具体的な事業として処理していない事務
が調査の対象となります。

1 - 3 . 調査方法

調査は、次の区分により段階的に行うものとします。

(1) 準備段階(モデル調査)

実際の調査にあたって、先導的にモデルケースとして、農業に関しては、鶴岡市産業部と藤島町と温海町、健康福祉分野に関しては、鶴岡市健康福祉部と三川町と朝日村、建設分野に関しては鶴岡市建設部と櫛引町と羽黒町から調査作業に着手してもらい、事務事業の洗い出し、内容の記載、比較対照表の作成等の具体的な記載等を行うことにより、全体調査作業の点検・修正へフィードバックする。

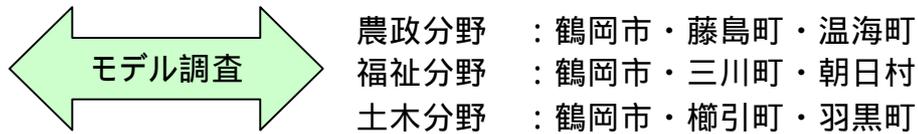
モデルケースの選択としては、集中・サテライト・現場対応についても考えられる部門の検討を行う。

(2) 第 1 段階調査(事務事業項目の洗い出し)・……行政現況調査項目分類一覧表 (事務事業概要・業務執行体制)・行政現況調査票

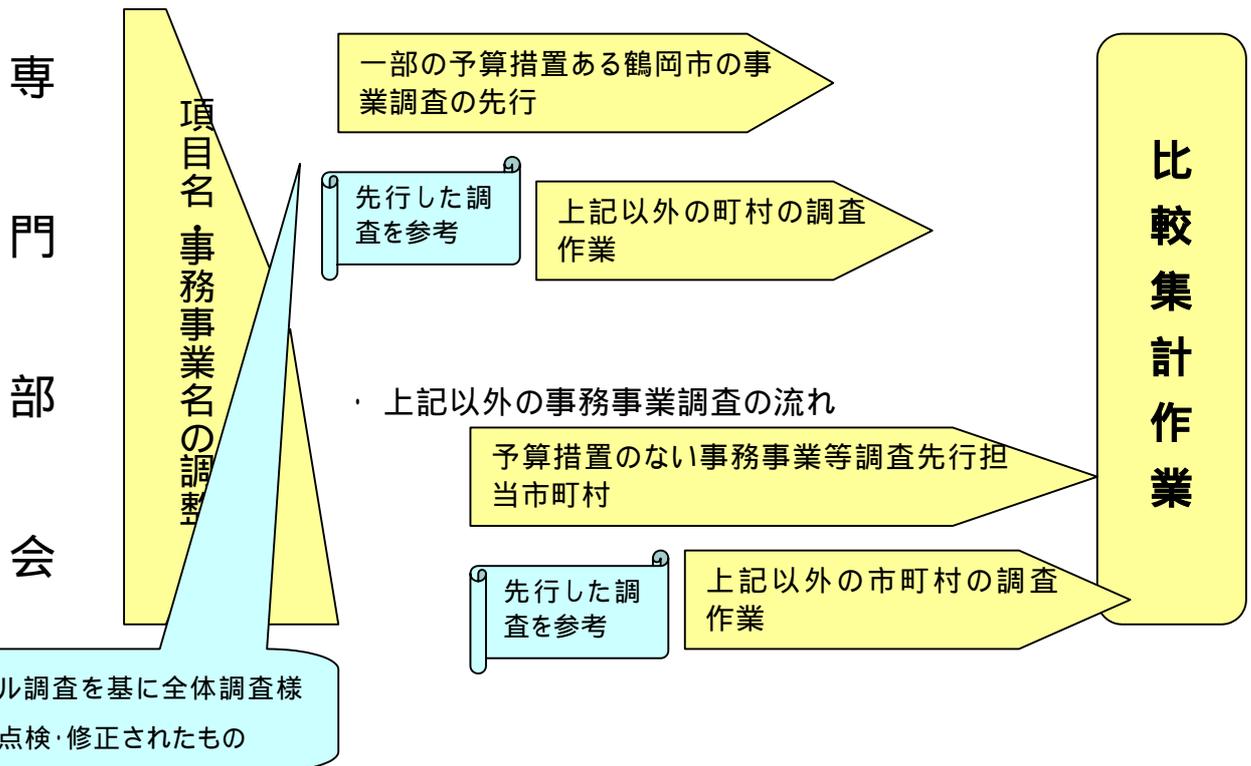
部会、分科会で調整・分類した項目・事務事業名により行政現況調査項目分類一覧表を作成し、協議会事務局が配布するモデル調査実施の結果により修正された記入要領に基づき、事務事業概要・執行体制を調査票に記載することとしますが、以下に説明する作業を部会・分科会の立ち上がりと同時に並行して行います。

- 1) 専門部会を立ち上げた部会(分科会)においては、7市町村の事務事業リストを一項目毎に洗い出し、項目、事務事業名の調整を進め、行政現況調査項目分類一覧表を作成します。
- 2) 鶴岡市においては、一部の予算措置ある事業調査等の予備調査を行っていることから、調査作業を容易にするため、この事務事業項目に関しては鶴岡市が先行調査として行政現況調査票を作成し、この内容を基に他町村が比較記載し、事業項目の調整・統一、比較内容の平準化を図ります。
- 3) 上記以外の予算措置ある事務事業、予算措置のない事務事業、今後実施が予定されている事業、その他 宣言などについては2)と同様に一市町村が、行政現況調査票を作成し、この内容を基に他市町村が比較記載することとします。
- 4) 2) 3)において、精度を上げるため分科会(部会)で記載内容の確認を行った後、次の市町村に配布します。

調査票作成工程イメージ



・ 鶴岡市が先行する一部の予算措置ある事務事業調査の流れ



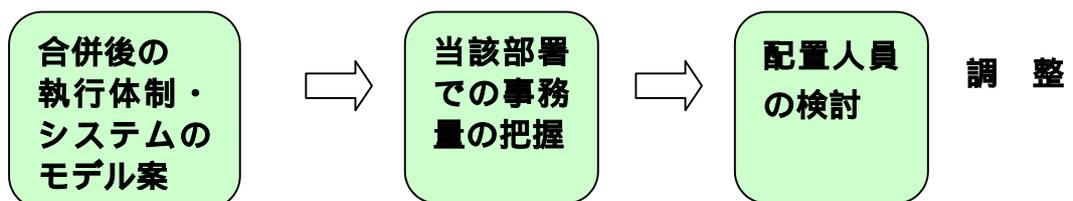
補助の様式の作成

1) 事務事業概要集計表

第2段階で調整する比較対照票を作成しやすくするため、作成します。

2) 執行体制集計票

執行体制・システムの検討を行うための基礎となります。



3) 根拠法令集計票

事務事業の調整結果及び執行体制・システムの検討は、新たに策定する条例等とリンクしますので、これの資料となります。

(3) 第2段階調査(行政現況調査票 項目個票・・・比較対照票の作成)

7市町村の事務事業概要集計票を、各分科会が中心となって相違点を整理し、比較対照票として調整・作成します。

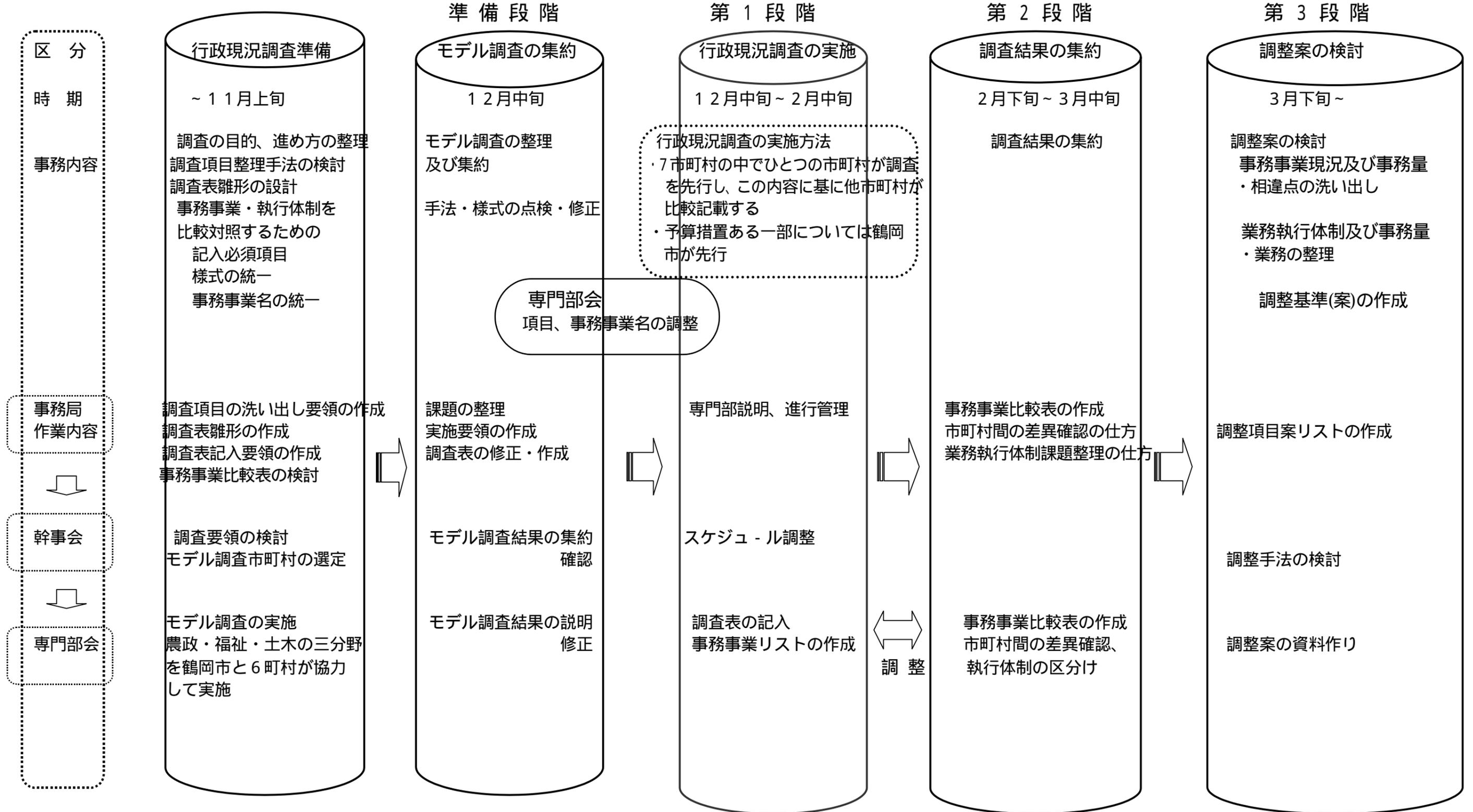
(4) 第3段階調査(課題・問題点の検討・整理)

(3)によって各分科会で作成した比較対照票から市町村間の差異を確認することにより、課題・問題点の洗い出しを行います。

(5) 調整案の検討

(4)の作業後、事務事業に関しては合併まで調整するもの、経過措置で対応するもの、従来通り行うもの等の調整内容の検討作業、並びに執行体制に関し、一箇所に集約、サテライト機能を検討するもの、合併前市町村で処理する事務事業等の執行体制・システムの検討作業を行います。

平成14年度行政現況調査実施計画



議案第6号

平成14年度庄内南部地区合併協議会補正予算（第1号）

歳入

（単位：千円）

科目	補正前の額	補正額	計	補正額の内容
負担金	5,000	2,728	7,728	藤島町 610 羽黒町 479 櫛引町 425 三川町 394 朝日村 294 温海町 526
県交付金	5,000	0	5,000	
雑収入	0	1	1	
合計	10,000	2,729	12,729	

歳出

（単位：千円）

科目	補正前の額	補正額	計	補正額の内容
報酬	954	0	954	
共済費	105	0	105	
賃金	1,100	0	1,100	
報償費	1,470	1,300	2,770	調査指導謝礼等 1,300 各専門部会調査研究謝礼
旅費	2,401	0	2,401	
需用費	2,080	1,085	3,165	消耗品費 420 事務用品、図書購入費、コピー用消耗品等 印刷製本費 665 協議会資料等
役務費	60	60	120	通信運搬費 60 郵送料等
委託料	580	60	640	会議録テープ反訳委託料 60
使用料及び賃借料	690	224	914	パソコン等賃借料 224
備品購入費	560	0	560	
合計	10,000	2,729	12,729	

市町村政の現状・方針等の研修会次第

櫛引町

1. あいさつ 阿部千昭町長

2. 市町村政の現状・方針等の説明
 佐藤克巳助役

3. 質疑応答

温海町

1. あいさつ 佐藤正明町長

2. 市町村政の現状・方針等の説明
 榎本竹司助役

3. 質疑応答

市町村合併研修会次第

1. 講師紹介

2. 講 演

「市町村合併について」

山形県総務部市町村課長 宍戸邦久氏

3. 質疑応答

講師プロフィール

宍戸 邦久 (ししどくにひさ) 氏

山形県総務部市町村課長

平成 3年4月 自治省入省

(財)全国市町村振興協会市町村職員中央研修所教授等

平成11年4月 山形県健康福祉部長寿社会課長

平成13年4月 山形県企画調整部企画調整課長

平成14年4月 山形県総務部市町村課長 現職